

神戸は「新しいステージ」へ ～いま街がかわりつつある～



神戸市長

ひ さ も と き ぞ う

久元喜造

[プロフィール]

1954年(昭和29年)2月 神戸市兵庫区生まれ。
神戸市立川池小学校入学、小部小学校卒業、神戸市立山田中学校、
灘高等学校を経て、1976年3月 東京大学法学部卒業、4月旧自治省入省。
総務省自治行政局選挙部長、同自治行政局長などを歴任
2012年11月 1日 神戸市副市長
2013年11月20日 第16代 神戸市長

[著書]

ネット時代の地方自治／ひょうたん池物語 好評発売中

神戸の輝かしい未来のために

妊娠→出産→子育て
切れ目のない
子育て支援に
取り組んでいます

【主な取組み】

- 特定不妊治療費助成の拡充
- こども医療費助成の拡充
- 多子世帯の保育料軽減
- 3歳未満児の保育料最高額の引下げ
- 子どもの居場所づくりへの支援
- 児童生徒への通学費援助の拡充
- 地下鉄「U-15定期券」の発売、海岸線中学生以下無料化社会実験

神戸市教育大綱を策定
教員が児童・生徒と向き合い、
安心して学べる環境づくりを
すすめています

【主な取組み】

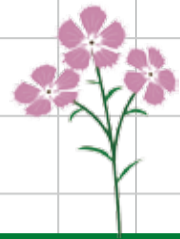
- 防犯カメラの設置(幼稚園、保育所、小学校、中学校など)
- 学校施設の改善(全小学校・中学校への空調整備など)
- 総務・学習支援担当教員を配置(小学校50名)
- 教頭業務補助スタッフの配置
- 教頭の処遇改善
- ICTを活用した多忙化対策

健康寿命延伸
誰もが元気に活躍する
「健康創造都市KOBE」
をすすめています

【主な取組み】

- 65歳の市民を対象としたフレイル(老化予防)健診の実施
- ヘルスケアポイントを活用した特定健診の受診勧奨など
- 「歯科口腔保健推進条例」・「がん対策推進条例」の推進
- 「(仮称)認知症の人にやさしいまちづくり条例」の制定検討
- 救急安心センター(#7119)の設置
- 市民医療の充実

Nishi 西区がかわりつつあります



区役所庁舎が移転し、新しくなります

現在の西区庁舎は老朽化・狭隘化が進み、数年後には築40年となり、建替えの時期を迎えます。西区区民まちづくり会議を中心に、西区における行政サービス拠点のあり方についてご意見・ご要望をいただき、「西区庁舎整備基本計画」をまとめました。

区役所庁舎について、西神中央地域に移転、整備することとし、現庁舎のある玉津地区においても、住民サービスの低下につながらないように対応することとしています。



西図書館の拡充へ

人口規模、貸出件数に見合った図書館の整備要望に応じて、平成29年度に西区民センター内での拡充など、西区に相応しい図書館の整備を検討します。

西神中央出張所 窓口の充実

市民ニーズの高い保健福祉サービスの手続きを西神中央でできるようになりました。



有害鳥獣対策の充実

イノシシ等侵入防止柵の設置をはじめ、捕獲機材の購入や集落向け自己防除研修、会の開催などの有害鳥獣対策を実施しています。



押部谷東地域福祉センター新設移転

民間建物（自治会館の一部）に設置している押部谷東地域福祉センターの新設移転について、地域の要請を踏まえながら、平成29年度中に着手します。



食都神戸2020の推進

食都神戸を推進する事業として、平成28年度は東遊園地でファーマーズマーケットを年40回開催しました。また、大学生・企業・農漁業者が連携して新たな商品づくりを行う「KOBE “にさんがろく” PROJECT」には7大学194名の学生、60社の企業、26団体の農漁業者が参加し、年々参加者が増加しています。海外展開についても、アジア圏への神戸ブランドや神戸ワインの輸出、香港へのいちごやいちじくの輸出を支援しており、継続して取引されています。

国道175号線 平野（西戸田～常本）地区供用開始

平成29年3月、国道175号線の平野（西戸田～常本）地区の拡幅が完了し供用開始されました。



国道175号線（拡幅後）